

授業の様子

授業の一部をご紹介します。

■青年期の発達と学習



この科目では、実習指導者として関わる教育的支援の対象の理解に必要な知識を修得します。具体的には、青年期の発達の特徴や学習理論を学修し、青年期に起こりうる健康問題とその支援の在り方について考察します。講義だけでなく、演習(グループワーク)を通して、実習指導者として関わる対象の理解が深まり、具体的にどのような学習支援が必要なのか、具体的にイメージできるようになります。



講師の先生が各グループを回り、具体的にアドバイスをしています。

■看護学実習指導論



この科目では、看護学実習の特徴、実習指導者の役割、実習指導に必要な倫理と教育評価を学修します。また、臨床での実習指導場面の参加観察実習、および模擬実習指導を通して、学生の実習目標達成につながる効果的な実習指導を理解します。講義・演習・実習を通して、看護学実習の実習指導に必要な知識・技術・態度を修得します。



看護教育学の教員が、事例を交えながら講義を展開します。実習指導を行うにあたり、最も直結する内容のため、受講生は真剣に講義・演習・実習に取り組んでいます。